

か 考える子
が がんばる子
や やさしい心の子
け 元気な子



すがわら



令和6年2月
愛川町立菅原小学校
齋漬 前盛 朋樹
電話 046-285-2794

五感を刺激し、子どもたちが直接感じ取れる体験・経験を、これからも

校長 前盛 朋樹

校門の両脇に菅原小学校のシンボルツリー 紅白の梅の花が綺麗に花を咲かせています。登校日数が50日余りと短い3学期も折り返しにきています。暖冬とはいえ寒い日が多い毎日ですが、「縄跳び旬間」の取り組みで子どもたちは毎日休み時間にグラウンドに出て、短縄跳びの練習に励んだりクラスで声を掛け合いながら長縄跳びに取り組んだりしています。感染症に負けない元気な菅原っ子を目指し、これからも体力の向上に努めていきます。

さて、3学期も限られた日数の中、**コロナ禍では難しかった様々な教育活動が展開**されていますので、ご紹介します。

まずは、4年ぶりの開催となった**芸術鑑賞会**。今年度はサキソフォン・アンサンブルの方々に来ていただき、普段なかなか聴くことのできない「生の音色」に触れることができました。楽器の長さの違いによる音の高さの違いを教えていただいたり、クラシックとジャズのリズムの違いを教えていただいたりしながら、子どもたちがよく知っているナンバーでは、盛り上げ上手な素晴らしいプロのパフォーマンスにコンサート会場さながらの盛り上がりとなり、**みんなで楽しむ時間の大切さを実感**しました。

また、5・6年生が福祉体験として行った**車椅子バスケットボール体験**。相模原の車椅子バスケットボールチーム「相模フォース」の方が競技用の車椅子を10台以上お持ちくださり、通常的車椅子との違いや操作の仕方・技を教えていただきながら、全員が何度も車椅子に乗り、リレーや車椅子バスケットボールの試合を体験させていただきました。最後に、**車椅子の方たちが困っている段差（バリア）は物理的なものだけではなく、みんなの心の中にもある**というお話をいただき、**体験したからこそその気づきが子どもたちの心の中に芽生えたこと**と思います。貴重な学びの場となりました。

子どもたちは一人一台端末を当たり前のようにツールとして使いこなし、間接体験・疑似体験が多くなった今の世の中だからこそ、**脳が大きく発達する学童期に、五感を刺激し自分の体で直接感じ取ることのできる体験・経験を、これからも多く行っていきたい**と思います。

そして、こちら4年ぶりの開催となる保護者をお呼びしての**学校保健委員会**。定期健康診断の結果をご提示した後、**助産師**の方を講師にお招きし、「**性教育**」の講演会をお聞きしました。たくさんの情報をいただきながら、普段なかなか知ることのできない様々な知識や考え方、子どもたちへの伝え方、留意点等たくさんの学びをいただき、**みんなでかけがえのない「命」について考えた素敵な時間**となりました。

次年度入学してくる新1年生の保護者説明会が行われるなど、次年度に向けた準備も少しずつ始まってきています。先日は1年生～3年生の授業参観も行われ、**歌や朗読劇をはじめ様々な発表形式の授業に子どもたちの成長を感じることができました**。子ども達自身も、今年度の振り返りをして学年のまとめ・総括を行うとともに、1つずつ学年の上がる次年度に向け、あらためて自分を成長させる機会にしてもらいたいと思います。今後とも菅原小学校の教育活動へのご理解とご協力を、何卒よろしく願います。

自己肯定感を育てる

教育相談 コーディネーター

自己肯定感とは、「ありのままの自分を肯定する感覚」のことです。自分を自分であると認める感覚でもあり、自分の短所や弱み、悪いところも含めてありのままの自分を肯定する力と考えられています。

内閣府が公表した「子ども・若者白書」によると、自分に満足している日本人の若者は 45.8%で、諸外国と比べて、日本の子どもは自己肯定感が低い傾向にあると言われています。どうして低いのでしょうか。その背景にある原因として考えられることを3つあげると、「過度に厳しくしつける」「子どもの話を聞かない・聞いても反応しない」「子どもの行動を親が決める」と聞きました。

児童へのアンケートによると

- ◎「家の人にほめられる」と感じている子どもたちの方が、「自分には自分らしさがある」と思っている。
- ◎「親から愛されている（大切にされている）」と思う子どもたちの方が、「長所がある」、「家庭生活への満足度」に関する意識が高い。



と、報告されています。

子どもたちが認められるような環境を作っていたか、どれくらいほめていたか、親としての1年間を振り返り、ぜひ、お子さんに声をかけてあげてください。

親の何気ない一言で子どもは変わってきます。「あなただったらできるよ」という声かけが、将来、落ち込むことがあったとき、気持ちを切り替え、上を向くことができるそうです。これからの生活において、そのような声をたくさんかけられるとよいですね。

各種コンクール等入賞者紹介

今年度の作品募集に応募して、入賞した児童を紹介いたします。



福祉ポスター	3年	SH	佳作
	5年	MH	佳作
	6年	KR	佳作
	6年	WM	佳作

環境ポスター	2年	HM	佳作
	2年	SI	佳作
	4年	AM	佳作
	6年	SR	佳作

JAごはん・お米とわたし図画コンクール	2年	HH	神奈川新聞社賞
---------------------	----	----	---------

夏のすいせん図書館感想文コンクール	2年	YS	佳作
-------------------	----	----	----

愛川町防火ポスター	2年	HS	入選
	2年	EB	入選
	3年	WE	入選
	4年	WK	入選
	4年	HA	入選
	5年	KS	入選
	5年	NR	入選
	6年	NK	入選

厚木市愛甲郡支部防火ポスター	2年	EB	入選
	4年	WK	入選
	4年	HA	入選
	5年	NR	審査員特別賞
	6年	NK	入選

福祉作文	4年	SM	優秀
	4年	IK	優秀
	6年	KR	佳作

青少年読書感想文	6年	YK	優秀
	5年	KY	優良
	3年	NA	優良
	2年	MT	優良
	2年	TG	優良
	2年	TA	優良

読書感想文中央コンクール	6年	NC	優秀
	6年	US	優良
	3年	GI	優良
	3年	AR	優良
	2年	MT	優良
	2年	MT	優良
	1年	KA	優良

交通安全文コンテスト	2年	SM	優秀
------------	----	----	----

